

平成 27 年度全国学力・学習状況調査 伊予市調査結果概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 平成 27 年 4 月 21 日（火）
- (2) 調査実施校及び調査学年・児童生徒数
小学校 9 校（第 6 学年 3 2 8 名） 中学校 4 校（第 3 学年 3 3 5 名）
- (3) 調査の内容
 - ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 - ア 主として「知識」に関する問題
 - イ 主として「活用」に関する問題
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果の概要

<小学校調査>

区分	国 語		算 数		理 科
	知識 (%)	活用 (%)	知識 (%)	活用 (%)	知識・活用 (%)
伊予市	7 1 . 7	6 9 . 8	7 6 . 0	4 9 . 6	6 3 . 6
愛媛県	6 9 . 9	6 7 . 7	7 5 . 1	4 7 . 9	6 3 . 9
全国	7 0 . 0	6 5 . 4	7 5 . 2	4 5 . 0	6 0 . 8

<中学校調査>

区分	国 語		数 学		理 科
	知識 (%)	活用 (%)	知識 (%)	活用 (%)	知識・活用 (%)
伊予市	7 8 . 2	6 8 . 9	6 7 . 7	4 3 . 8	5 6 . 3
愛媛県	7 7 . 0	6 6 . 5	6 5 . 4	4 3 . 2	5 5 . 2
全国	7 5 . 8	6 5 . 8	6 4 . 4	4 1 . 6	5 3 . 0

○ 小学校では、理科において県平均正答率を僅かに下回っているが、その他の全ての調査において全国・県平均を上回っており、教科に関する調査結果は良好である。今後も各教科とも、基礎的・基本的な内容の定着、言語活動の充実がさらに図られるようにすることが大切である。

○ 特に良好な内容

＜国語科＞

- ・音読、効果的な読み方、説明的な文章・文学的な文章の解釈など「読む」内容
- ・順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書くなど「書く」内容
- ・国語科への関心・意欲・態度

＜算数科＞

- ・身の回りにあるいろいろな量の単位と測定など「量と測定」の内容
- ・数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわる「技能」

＜理科＞

- ・生物の生活や成長、体のつくり及び地表、大気圏、天体に関する「生命・地球」の内容

○ 中学校では、全ての調査において全国・県平均正答率を上回っており、教科に関する調査結果は良好である。今後も学習に対する関心・意欲の向上を図ることが大切である。

○ 特に良好な内容

＜国語科＞

- ・目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書くなど「書く」内容
- ・目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話す、考えを比べながら聞く、相手の立場を尊重して話し合うなど「話す・聞く」内容

＜数学科＞

- ・ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向を読み取ったり、確率を用いて不確定な事象をとらえ説明したりするなど「資料の活用」の内容
- ・基本的な図形の概念や性質を理解したり、図に表現したり、正しく作図したりする「図形」の内容

＜理科＞

- ・天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、月の運動と見え方、日食、月食、銀河系の存在など「地学」の内容

【平均無解答率（答を書かなかった児童生徒の割合）】

本市の平均無解答率が全国の平均無解答率を下回った割合（低い方がよい）（＋は良好）
 ＜小学校調査＞

国 語		算 数		理 科
知識 (%)	活用 (%)	知識 (%)	活用 (%)	知識・活用 (%)
+2.1	+3.7	+1.2	+6.3	+1.6

＜中学校調査＞

国 語		数 学		理 科
知識 (%)	活用 (%)	知識 (%)	活用 (%)	知識・活用 (%)
+1.0	+1.2	+1.8	+4.1	+1.8

- 本市の平均無解答率を全国と比べると、昨年度以上に小学校・中学校ともに良好な傾向である。問題に粘り強く取り組もうとする態度が見られる。

4 質問紙調査結果の概要

＜小学校＞

- 「平日のテレビの視聴時間」「平日のインターネット等の利用時間」「学校のきまりを守る」の項目において全国と比べて良好な結果である。
 ○ 「自分にはよいところがある」「朝食を毎日食べる」の項目において、全国と比べて低い傾向がある。

＜中学校＞

- 「自分にはよいところがある」「地域・社会の問題に関心がある」「家で学校の宿題をしている」「平日のインターネット等の利用時間」の項目において、全国と比べて良好な結果である。
 ○ 「平日のテレビの視聴時間」の項目において、全国と比べて視聴時間が長い傾向がある。

＜自己肯定感について＞

自分にはよいところがあると思っている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全 国 (%)
小学校	74.0	78.1	76.4
中学校	76.6	72.3	68.1

＜将来の夢や目標について＞

将来の夢や目標をもっている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全 国 (%)
小学校	88.6	88.3	86.5
中学校	75.4	76.0	71.7

＜テレビ・ビデオ視聴について＞

平日に視聴する時間が2時間未満の児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全 国 (%)
小学校	46.4	44.1	40.7
中学校	40.4	47.1	44.2

＜家庭学習について＞

家庭で学校の授業の復習をしている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全 国 (%)
小学校	58.4	60.4	54.5
中学校	43.7	46.5	52.0

その他、全国や愛媛県と比較し、良好な傾向のある項目や課題が見られる項目は以下のとおりである。

- 全国や愛媛県と比較し、良好な傾向のある項目
 - ・ 図書館を利用している。（小学校）
 - ・ 今住んでいる地域の行事に参加している。（小学校）
 - ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。（小学校）
 - ・ 家で、学校の授業の予習をしている。（小学校・中学校）
 - ・ 毎朝、朝食を食べている。（中学校）
 - ・ 普段（月～金曜日）、テレビゲームをする時間が少ない。（中学校）
 - ・ 普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が少ない。（中学校）
 - ・ 学校での出来事について話をしている。（中学校）
- 全国や愛媛県と比較し、課題が見られる項目
 - ・ 就寝時間が規則正しい。（小学校）
 - ・ 普段（月～金曜日）、テレビゲームをする時間が多い。（小学校）
 - ・ 普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が多い。（小学校）
 - ・ 土曜・日曜日の家庭学習時間が少ない。（中学校）
 - ・ 図書館を利用している。（中学校）

5 今後の取組について

この調査結果は、児童生徒の学力の一部であり、全ての学力を調査しているものではありません。各学校から、学校の結果や今後の取組などが示されていることと思いますが、学校と家庭の連携の下、学習状況の改善を図っていくことが大切であると考えます。

また、伊予市では平成 25 年度から「伊予市立学校の教育力向上推進委員会」を設置し、伊予市児童生徒の学習状況に関する課題や今後の取組について協議していくようにしております。ここでは、基礎・基本の定着、小中学校（小学校同士、中学校同士、中学校区の小中学校）での連携、学習指導の充実、学力調査の実施、家庭との連携の強化などが取組の課題としてあげられています。今後も、市と学校と協力して学力向上の推進に努めてまいりたいと思います。

6 備 考

愛媛県教育委員会のホームページにも県や市町の結果の概要が紹介されています。
(<http://ehime-c.esnet.ed.jp/gimu/src/02shidou/01gakuryoku/zenkoku/zenkoku26.html>)